

①学習課題（中学校3年生）

【国語】

<内容>

○教科書「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」（P124～P127）を読んで、自分の考えをもとう。また、考えたことを家の人に伝えてみよう。

<取り組み方>

- ① 教科書「人工知能との未来」（P124～P125）を音読してみよう。
- ② 「人工知能との未来」で筆者が述べている内容を次の観点で確認しよう。
 - (1) P124 上段 11 行目の「棋士が直面している違和感」とはどのようなものか、二点まとめよう。
 - (2) 「人間」「人工知能」はそれぞれ何によって判断しているのだろうか。説明してみよう。
 - (3) P124 上段 5～6 行目「人工知能が社会に～どう向き合うかが課題」のところの答えとして、筆者はどのように考えているのだろうか。P125 をもとに、文章でまとめてみよう。
- ③ 教科書「人間と人工知能と創造性」（P126～127）を音読してみよう。
- ④ 「人間と人工知能と創造性」で筆者が述べている内容を次の観点で確認しよう。
 - (1) 「創造性」「思いつき」「評価」という観点それぞれについて、「人間」と「コンピュータ」を比較して表にしよう。
 - (2) 筆者は「人間」と「人工知能」との関係はどのようにあるといいと考えているか、まとめよう。
 - (3) これからの時代に「人間」にとって必要な力はなんだろうか。理由とともにまとめよう。
- ⑤ 「人工知能と未来」「人間と人工知能と創造性」を読んで、自分が納得できたこと、出来なかったことはなんだろうか。また、自分の考える「人間」と「人工知能」の特徴や関係、未来について、家の人に説明してみよう。

※①～⑤に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※⑤について、家の人に説明することがどうしても難しい場合は、目の前にうちの人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。